



LGWAN

Local Government Wide Area Network

総合行政ネットワーク

No.
133

➤ 特集 LGWAN-ASPとは？

LGWAN-ASPとは、府省、地方公共団体、公益法人、民間企業等がASP（アプリケーションサービスプロバイダ）として、LGWANを通じて、サービス利用者である地方公共団体に各種行政事務サービスを提供するものです。平成15年度に本格的なサービスが開始されて以来、多くのサービスが提供され、地方公共団体において利用されています。

今回は、サービス利用者の期待効果、サービスの構成、最近の動向及び利用方法について紹介し、最後にサービス提供者の利点についても触れます。

1 LGWANにおいて提供されているサービス

LGWANは、すべての地方公共団体の組織内ネットワーク（庁内LAN）を相互に接続する行政専用のセキュアなネットワークであり、行政事務の効率化・迅速化、重複投資の抑制及び住民サービスの向上を目的として運用されています。地方公共団体がLGWANに接続することで利用できるアプリケーションサービスには、大きく分けて次の三つがあります。

- ①LGWAN自らが提供するLGWAN掲示板及びメーリングリストサービス、情報共有管理サービス、組織ディレクトリサービス等の基本アプリケーション・サービス
- ②LGWAN-ASPサービス提供者が提供するLGWAN-ASPサービス
- ③国の府省が政府共通ネットワークからLGWAN経由で提供する府省サービス

今回ご紹介するのは、②のLGWAN-ASPサービスです。

2 LGWAN-ASPの目的

LGWANでは、ASPを活用して品質及びサービス

レベルの高いアプリケーションを地方公共団体間で共同利用することにより、地方公共団体間のIT格差を軽減するとともに、地方公共団体のIT化を促進し、かつ、地方公共団体が独自にシステムを構築するよりも、標準的で経済的なシステムを導入・運用することを目的としています。

3 LGWAN-ASPサービス利用者の期待効果

LGWAN接続団体である地方公共団体は、LGWAN-ASPを利用することにより、具体的には次のような効果が期待できます。

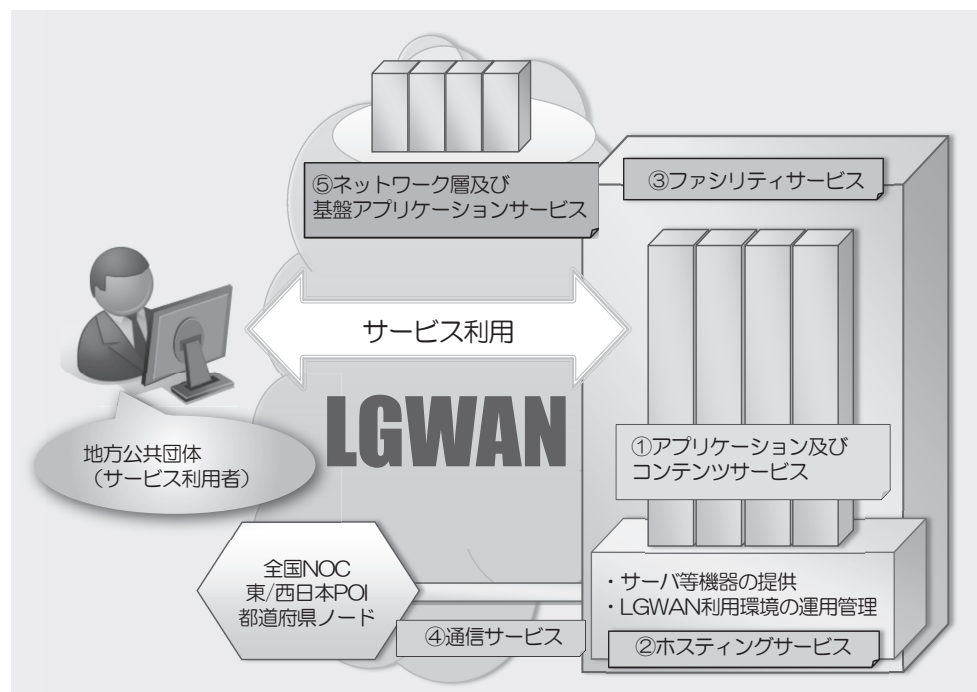
- ①品質が高く、経済的なサービスの利用
- ②安全で時間の制約を受けないサービスの利用
- ③システムの開発及び運用に係る業務の軽減
- ④業務プロセスの標準化による、業務効率の向上
- ⑤遠隔地にある堅牢なデータセンターを利用することによる、災害時の業務継続性確保

4 LGWAN-ASPサービスの構成

LGWAN-ASPは、図－1に示すとおり、五つのサービス層から構成されています。

- ① アプリケーション及びコンテンツサービス

図-1 LGWAN-ASPのサービス分類



これらのサービスの中で、地方公共団体がアプリケーションやコンテンツの利用者となって直接利用するのは、①のアプリケーション及びコンテンツサービスとなります。

一般的なASPでは、アプリケーションサービス、ホスティングサービス及びハウジングサービスの三つのサービスが提供されていますが、LGWAN-ASPでは、サービスを五つに細

各種アプリケーションや情報コンテンツ等を提供します。

② ホスティングサービス

アプリケーション及びコンテンツサービスの提供に必要なサーバや通信設備を提供するとともに、その運用管理を行います。

③ ファシリティサービス

ホスティングサービスを構成する機器の設置スペース、電源及び空調、そのための建屋等のファシリティ設備を提供します。

④ 通信サービス

ホスティングサービスの構成機器をLGWANに接続するための専用回線を提供します。

⑤ ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービス

IPアドレス、ドメイン名管理、基本プロトコル群(HTTP等)及びアプリケーション基盤(認証基盤(LGPKI)、ディレクトリ基盤等)を提供します。これらは、LGWAN自らの基盤サービスとして提供します。

分化することによって、事業者に対してサービス参入の機会を広げています。

5

アプリケーション及びコンテンツサービスの登録状況

次に、実際にLGWAN-ASPとして登録されているアプリケーション及びコンテンツサービスについて紹介します。

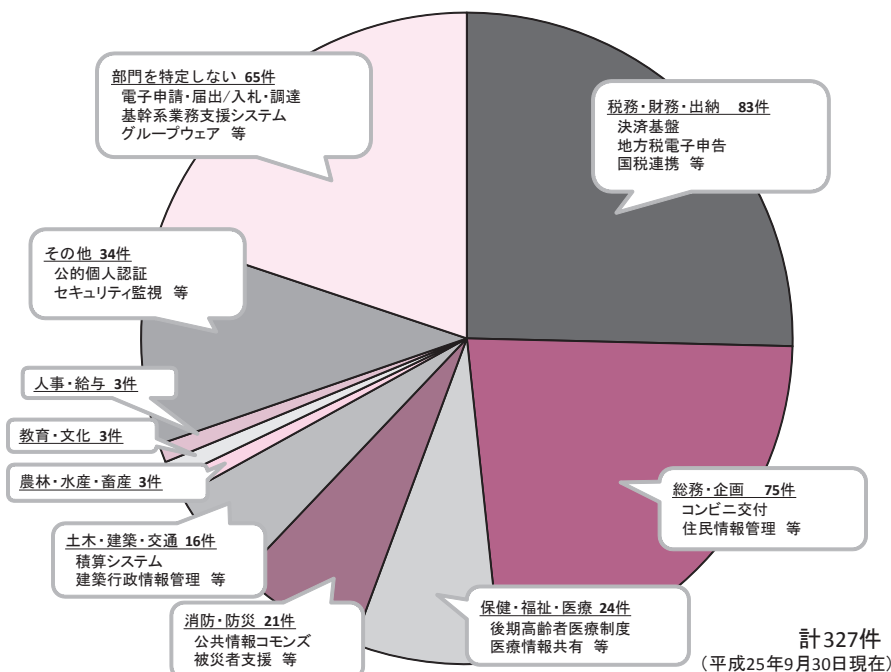
(1) 登録状況

LGWAN-ASPとして登録されているアプリケーション及びコンテンツサービスの数は年々増加しており、平成25年9月30日現在327件となっています。府省、地方公共団体、公益法人、民間企業等から、図-2に示すとおり様々なサービスが提供されています。

(2) 最近の動向

ここ数年は、「自治体クラウド」の推進に向けた取組みが盛んです。住民情報関連業務や税業務等、複数の基幹系業務システムを搭載したアプリケーショ

図-2 アプリケーション及びコンテンツサービスの登録状況



ンサービスは、今後も増えていくことが予想されます。

また、住民基本台帳カードを利用して、住民票の写し等の各種証明書がコンビニエンスストアで取得できる「コンビニ交付」についても、平成22年のサービス開始以降、参加する団体が増えてきており、平成25年9月30日現在72団体が参加しています。

6

アプリケーション及びコンテンツサービスの利用方法

LGWAN-ASPアプリケーション及びコンテンツサービスの利用を希望する地方公共団体は、そのサービスの提供者が定める利用約款等に基づいて利用許諾を得ることにより、サービスの利用が可能となります。

(1) 利用手順

サービス利用のための一般的な手順は、図-3に示すとおりです。LGWANに接続された端末であれば、利用者側の端末環境の設定等は基本的に不要です。なお、サービスによっては、専用の機器やソフトウェアの配付、あるいは独自の設定を必要とする

場合もありますので、詳細については、当該サービス提供者に直接お問合せください。

(2) サービスの探し方

LGWAN-ASPアプリケーション及びコンテンツサービスの概要については、サービス分類及び提供地域ごとに整理の上、インターネット上の地方自治情報センターホームページにサービスリスト (<https://www.lasdec.or.jp/cms/15,7642,41.html>) として提供しています。また、月刊LASDECに不定期で掲載されている

「LGWAN-ASPのご紹介」コーナーでは、LGWAN-ASPに登録されているアプリケーション及びコンテンツサービスの紹介を行っています。過去に掲載された記事は、同じく地方自治情報センターホームページの月刊LASDEC掲載記事 (<https://www.lasdec.or.jp/cms/15,4769,67.html>) から閲覧することができます。

7

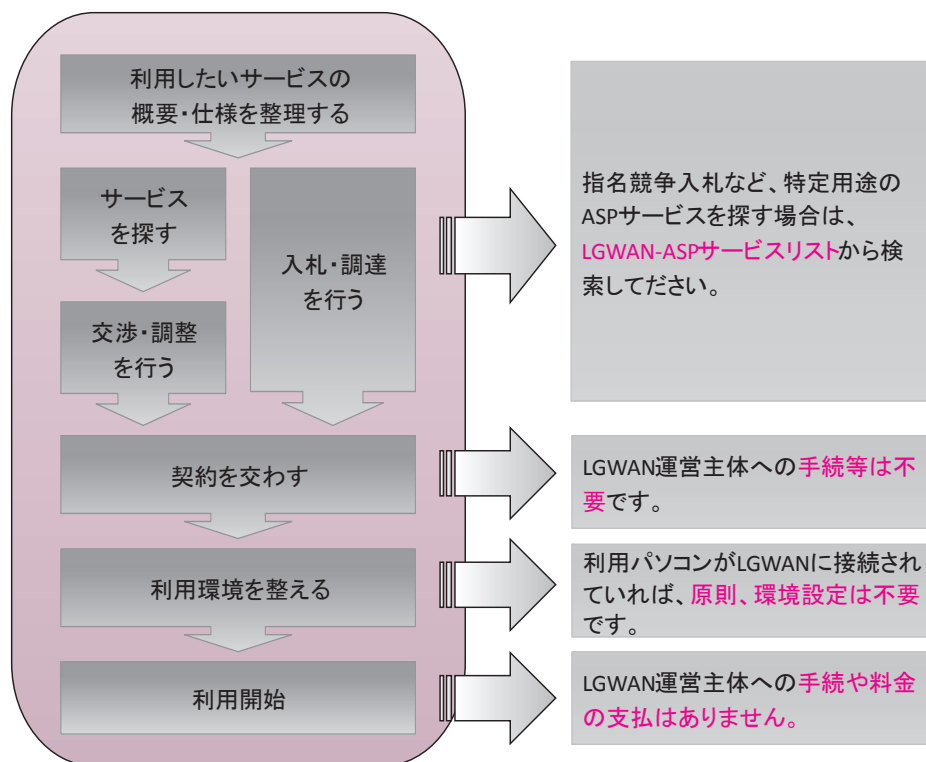
LGWAN-ASPサービス提供者の利点

最後に、LGWAN-ASPサービス提供者の視点によるLGWAN利用の利点について要約します。

頭書に記載のとおり、LGWANはすべての地方公共団体が接続するセキュアなネットワークです。十分な稼働実績を有するLGWANを利用してアプリケーション及びコンテンツサービスを提供することには、次の利点があると考えられます。

- ①既存の回線、端末等が利用できるため、経済的なサービスが提供可能
- ②高度なセキュリティ対策が施されたLGWANを

図-3 アプリケーション及びコンテンツサービスの利用手順



にとっての利点でもあります。

さらに、

④LGWAN自らが提供するアプリケーション基盤である認証基盤 (LGPKI)、組織ディレクトリ、共通認証サービス等の利用が可能

⑤サービスリストや月刊LASDEC「LGWAN-ASPのご紹介」による広報が可能

といった利点も挙げられます。

最近では、自治体クラウドを実現するにあたって、LGWAN-ASPである

通じた信頼性の高いサービスが提供可能

③いったんサービス提供環境を構築すれば、サービス内容及び対象の拡充、追加が容易

以上の利点は、サービスを利用する地方公共団体

ことを調達要件とする仕様書の事例もありますので、地方公共団体向けのクラウドサービスやオンライン請負サービスを提供している事業者はそのLGWAN-ASP化をぜひご検討ください。

LGWANサービス提供設備からLGWAN接続ルータへの移行状況 (平成25年10月10日現在)

■ LGWAN接続団体	855/1820団体
■ LGWAN-ASP	50(119)/202 ASP

※ () 内は接続団体が自団体の接続ルータを利用してASPサービスを提供する形態を含めた件数です。

LGWAN-ASPサービス登録/接続状況 (平成25年10月10日現在)

LGWAN-ASPサービス提供者の登録/接続状況は次のとおりです。

■ アプリケーション及びコンテンツ	登録: 331件	■ ホスティング	接続: 202件
■ 通信	登録: 179件	■ ファシリティ	登録: 276件

登録/接続済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しています。

<https://www.lasdec.or.jp/cms/15,0,41.html>